

寝屋川市教育大綱

昨今、急速な技術革新や、様々な分野でのグローバル化等の進展により、社会の変化を予測することが非常に困難な状況となるとともに、あふれる情報の中から正しく情報を取捨選択し、活用していくことが必要な社会となっています。

このような社会情勢の中、自らの人生を切り拓き、それぞれの夢に向かって豊かに、たくましく生き抜いていくためには、これまでと同様の教育を続けていくだけではなく、自らの「考える力」を育成するための取組が急務であります。また、「考える力」をベースとした「学力」、「体力」の育成などに着実につなげていくための「寝屋川教育（方式）」の確立が求められています。

私は、一人一人の良さを最大限に引き出し、「生き抜く力」を育成し、人格を磨いていくことが、本市の子どもたちの成長につながる最善の策であると考えています。

子どもたちが将来、力強く社会を生き抜く力を育んでいくことが社会全体の願いであり、学校・家庭・地域はもとより、関係機関、関係団体等との連携を深め、市民に信頼され、期待される教育の実現とともに、本市の特色ある取組により、市内外から選んでいただける教育の実現を目指します。

本市の教育改革に先立ち、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱をここに策定します。

令和2年3月 広瀬 慶輔

基本理念：『“寝屋川”だから学べる』

本市の教育改革を推進し、寝屋川市だから学ぶことができる教育内容、教育環境等の実現を2つの視点から目指します。

1. 「考える力」の確立

子どもたちが将来、自らが身に付けた力を活用し、感性や創造性を最大限に発揮するため、ディベート教育、道徳教育などを通じ、コミュニケーション力、他人を思いやる心、豊かな人間性の醸成を図り、「考える力」を育みます。

また、「考える力」をベースに、基礎から発展につながる「学力」、様々な理論に基づき鍛えあげる「体力」などを確実に身に付けさせることにより、子どもたちの「生き抜く力」を育みます。

2. 特色ある「寝屋川教育」の確立

市民ニーズに寄り添った、寝屋川市だから学ぶことができる特色ある「寝屋川教育」を目指します。

施設一体型小中一貫校を新たなまちづくりのメインアイコンとして位置づけ、9年間の継続した学びの中で寝屋川市独自の教育を実現するため、全市的な小中一貫校への移行を目指します。

保護者ニーズに寄り添った、放課後児童対策等における総合的な取組や、人生100年時代を見据えた学習活動や文化・スポーツ活動など、市民が活躍できる環境づくりを推進します。

ソフト・ハード面を問わず、市の持つ経営資源を有効活用し、英語教育、ICT環境等、新たな課題への対応を進めます。

対象期間等

策定から概ね4年間の大綱とし、大綱の実現に向け、実施計画を策定し取組を推進するとともに、市と教育委員会が相互に協力・連携します。